

よしまい

2024年 盛夏号



ヨシ原の中で声を張り上げるオオヨシキリ

目次

公園の風景

- ただ今子育て中 1
- ミツバチはえらい! 1
- 罪はないけど 1
- アサギマダラ、待ってるよ～! . . . 1

展望棟から ③ 2

みんなのひろば

- 新しい扉が開いたポスター作り . . . 2

活動紹介

- 今年も暑いぞ!! 早朝観察会 . . . 3
- マイクロバスに乗って♪ . . . 3
- みんなでホームページ作り . . . 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail ashinokai.kirara@gmail.com

HP ashinokai.html.xdomain.jp

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

会員募集中！（高校生以上）



展望棟から ③

展望棟から見える山々を紹介するシリーズ、3回目は藤尾山（67m）です。山口湾の向かい側にある、公園から一番近い山で、後ろには藤尾山公園があります。その形から「まんじゅう山」とも呼ばれていますが、昔、タングステンの鉱山があり水晶も採れたことから「水晶山」とも呼ばれ、山裾の海岸では水晶探しに興じる人もいます。



観察展望棟
東西南北、ぐると見渡せます



左が藤尾山。右手は秋穂二島。
遠くに陶ヶ岳連峰が見えます。



藤尾山から見るきららドームと自然観察公園。
正面に横たわっているのは日の山です。

みんなのひろば😊

新しい扉が開いたポスター作り

元々絵を描くことが好きだったので、この度のポスター制作を引き受ける形となったのですが、このポスターは誰が見るのか、自己満足で終わっていいのかを考えるきっかけとなり、芸術活動における新たな扉を開けることが出来たと思っています。

子供達が行きたいと思えるポスターとは何かと考えたとき、シンプルで見やすいよ

りも、パッと見た時に「いいな！」と思える、そんなイラストに仕上げようと思ったものの、やはりポスターとして完成したらゴチャゴチャ感が否めない…という、見る人と作品の機能とのギャップに悩まされました。ですが、文字入力や編集などの方々が何度も試行錯誤を重ねてくださったおかげで、ポスターとしての機能と見る人に感動を与えることのできる機能が合わさった素晴らしい作品になったと思います。このような機会をくださったきらら浜自然観察公園と葦の会の方々に感謝申し上げます。

(I・Hataya)



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

公園の風景

= ただ今子育て中 =

「ギョギョシギョギョシ ケケシケケシ」と大きな声で鳴くオオヨシキリ。東南アジアなどから夏鳥として飛来し、5月半ばから公園のヨシ原で存在感を発揮します。この機関紙の名前、「よしきり」はこのオオヨシキリから取っています。

全長18cmくらいで、地味な茶褐色。姿は見えなくてもこのうるさ〜い声でオオヨシキリとすぐわかりますね。繁殖の最盛期には夜も囁ります。地上1mくらいの高さにヨシの茎3本を柱のように使って草を絡め、深いコップ状の巣を作りますが、カッコウのいる所ではしばしば托卵の相手に選ばれてしまうそうです。オオヨシキリの子育てが終わるとヨシ原は静かになります。



= ミツバチはえらい！ =

シャリンバイの花の上でミツバチが忙しそうに蜜を集めていました。小さな体で花から花へと飛び回っています。働きバチの飛翔能力は秒速6m〜8m(速い！)。一度に自分の体重の半分に相当する40mg前後の蜜を運ぶことができるそうです(力持ち！)。そして、優れた記憶、学習能力を持ち、巣箱の位置、花の色、形、匂い、開花時刻、花のある場所を覚えて次の訪問に役立てるそう(賢い！)。でも働きバチの寿命は1か月というはかない命(切ない…)。そんなミツバチたち、暖かく見守ってあげましょう。



= 罪はないけど =



公園のビオトープでは、5〜7月にかけて、白とピンクのスイレンが可憐な花を咲かせますが、実はこのスイレンは繁殖力が旺盛な外来種。明治のころに観賞用としてフランスなどから持ち込まれた外来スイレンは増えすぎると水中の水草などに光が届かず、生態系に影響が出ることと、今では駆除する動きが広がっているようです。

外来種が悪いとは一概に言えませんが、動物も植物も増えすぎると在来種を駆逐してしまうこともあり、生態系のバランスを保つことはなかなかの難題ですね。

= アサギマダラ、待ってるよ〜！ =

4月に宇部市の方からいただいたフジバカマの苗はアサギマダラロードに植えてあります。続いて山口市の方から5月にいただいた苗を、公園のネーミングライトを保持されている新光産業さん寄贈



の園内案内板の足元に、公園スタッフと葦の会有志で植え付けました。皆さんが園内のアサギマダラロードに関心を持たれお届け下さったことを大変有難く思います。この秋、どちらのフジバカマにもアサギマダラが飛来してくれそうですよ!!



園内案内板の下にフジバカマ

活動紹介

= 今年も暑いぞ!! 早朝観察会 =

葦の会の高校生新メンバーによる素敵なポスターが6月の始めに完成しました。前頁の「みんなのひろば」でご覧いただけます。このポスターのように子どもたちが爽やかな自然の中で、のびのびと楽しんでくれるように、葦の会一同も張り切っています。7月27日(土)7時~10時。しっかり水分補給をして楽しい3時間を一緒にしましょう。冷たいおやつも用意しています!

= マイクロバスに乗って♪ =

<俳句教室 最多選句>

5月26日は葦の会の研修旅行でした。まず、山陽小野田の「山口カブトガニミニ展示館」でカブトガニについて学びました。それから豊田町の道の駅、「蛸街道」で瓦そばの昼食をとり、その側にある「ホテルミュージアム」へ。次は東行庵に立ち寄り、庭を散策。最後に、火の山公園で今年秋には廃止となるロープウェイに乗って展望台から関門海峡を眺めました。天気もよく、楽しく有意義な研修旅行になりました。

・晴天を求め路傍の忍冬

敬子

5月

・雨待つや穴から覗く赤手蟹

はるか

6月



= みんなでホームページ作り =

葦の会の新ホームページは、書き手一人で細々と継続しながら2年が経過しました。今後は会員全員で取り組むことで、より豊かなページになると期待しています。6月の全体ミーティング時、定例の「ミニ講座」に於いて、現在のホームページへのアップ作業の請負人、会員の木本さんにホームページへ寄稿するに当たっての要領などを教わりました。更に、葦の会のライングループを作っては?との提案もあり、当日の参加者はもとより、これまで個々にラインで繋がっていた欠席者も次々招待し、大いに盛り上がり楽しい時間となりました。

<編集後記>

大雨が降ると目の前の海岸に大量のゴミが流れ着きます。早朝、ゴミ袋と火挟みを持って浜を歩くのが最近の日課ですが、日が高くなるにつれ気温はぐんぐん上昇。帰るとすぐにエアコンのスイッチを入れ、出かける用事のない日はそのまま一日中かけっぱなしになります。場所を選ばない豪雨や年々暑くなるこの酷暑、この先どうなっていくのでしょうか。(nimu)